

## 建築構造調査士運営委員会報告

### 第5回建築構造調査士資格試験、第2回資格更新講習会の実施について

建築構造調査士運営委員長 山下 賢治

#### 1. はじめに

本協会認定「建築構造調査士」資格制度は、昨年までの4年間で、延221名の資格者が誕生しており、今年度(第5回目)は21名の新規受講者が資格取得に臨みました。

そして、今年度は、第2回目の資格取得者(合格後3年間の有効期限)の資格更新講習会を実施し、新規者とは別に、延36名の更新受講者が「資格の更新」を済ませました。

#### 2. 第5回認定資格試験(対象:新規受講者)

平成26年10月29日 (第1日目)テキスト講習会を実施済み。

平成26年11月26日 (第2日目)実技講習会・判定試験を実施済み。

平成27年 2月 中旬 建築構造調査士試験合否判定会を実施予定

平成27年 2月 末日 第5回資格認定試験合格発表予定(協会HPに掲載予定)

平成27年 3月 末日 今年度建築構造調査士「資格登録証」の交付・発行予定



H26. 10. 29 テキスト講習会風景



H26. 11. 26 実技講習会風景

(尚、テキスト講習会の様子は、H26. 11. 5 付の建通新聞に掲載されました。)

#### 3. 第2回資格更新講習会(対象:更新資格者)

今年度は、第2回目の資格取得者が3年間の有効期限に伴い、延36名の更新対象者が更新講習会を受講し、資格の更新を行いました。更新のための講習会は、下記の3講習会の内、いずれか一つの講習会を受講することを更新条件といたしました。

平成26年 9月10日 「耐震診断マニュアルにおける各種様式の講習会」  
講習会(講師:工学院大学 周建東氏、小野里憲一氏)

平成26年10月29日 「テキスト講習会(午後の部)」への受講

平成26年11月26日 「実技講習会(講義・実技)」への受講

#### 4. 建築構造調査士認定資格制度のあるべき姿

協会認定資格となる「建築構造調査士」とは、RC造・S造・これらの混合構造・組積造等の建築物の耐震構造体の現状調査に対して実態を正しく捉え、的確に調査報告のできる実績ある「調査技術者」を資格対象とするものであり、一方の調査結果に基づく診断計算・評価・補強設計等を分担する一級建築士等の「診断技術者」とは、両翼の一端を担うような相互関係にあるものと位置付けられます。

この資格制度の役割は、正会員・賛助会員各社の社員を対象として、建築構造物の調査を実施する技術者の育成、資質の向上、耐震診断・耐震補強に関連した調査技術の共有化とともに、協会の社会的基盤の確立、社会的地位の向上を志向するための一助となること大きな目標であり、本協会による責任ある調査活動の証として、この認定資格制度を有効に活用することで、ニーズの拡大やさらなる発展が大いに期待されます。

#### 5. 本認定資格試験の受験要件

本認定資格試験の受験要件は、下記の3項目を満足することが条件となります。

- 本協会の正会員、または賛助会員であること。
- 日頃の業務において、既存構造物の現地構造調査に対して、実態を正しく捉え、的確に調査報告のできる経験ある調査技術者であること。
- 本協会の一員として、構造調査等を通して、本調査士資格を内外に広く活用、周知、普及していく強い意志を持つ調査技術者であること。

#### 6. 「建築構造調査士」認定資格の取得・登録

- 合否判定 : テキスト・実技講習及び判定試験結果に基づき、当運営委員会において合否判定を行い、年度内に合格者を決定する。
- 資格登録証の交付 : 受講合格者には、本協会認定の資格登録証を交付する。
- 登録の有効期限 : 合格後3年間とする。
- 登録の更新 : 有効期限年度の更新講習会を受講しなければならない。
- 登録資格の表示 : 構造調査業務に就くときは、必ず本資格証を携帯すること。
- 名刺への資格表示 : 「建築構造調査士(Strec)」と表示すること。



「資格登録証」

#### 7. おわりに

本認定資格制度は、新規・更新を含め、益々の資格制度の充実・向上に努めてまいりますので、正会員・賛助会員の皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

以上

**建築構造調査士  
認定へ講習会**

構造調査コンサル協  
構造調査コンサルティ  
ング協会(赤木久真会長)  
は10月29日、同協会が認  
定する「建築構造調査士  
の認定テキスト講習会を  
開いた」写真。


同調査士は、建築物の  
耐震構造体の実態を正し  
く捉え、調査・報告でき  
る調査技術者。現在、2  
00人以上が合格し、構  
造物調査業務などに携わ  
っている。

建築構造調査士運営委  
員会の山下賢治委員長は  
「今後発生が予想される  
自然災害への対応に向け  
て確かな技術と知識の蓄  
積が必要。社会インフラ  
の健全な維持・保全に貢  
献するため、技術が共有  
できる他団体や事業主体  
と連携し、資格の拡大を  
図りたい」と話した。

講義では、鉄筋コン  
クリート・鉄骨構造の調  
査技術、天井などの非構  
造部材、基礎と地盤につ  
いてそれぞれ解説した。



 スクラップブックへ保存する

 このページを印刷する

## 建築構造調査士の認定に向け資格講習会

2014/11/5 東京版 掲載記事より

構造調査コンサルティング協会(赤木久真会長)は10月29日、同協会が認定する「建築構造調査士」の認定テキスト講習会を開いた=写真。

同調査士は、建築物の耐震構造体の実態を正しく捉え、調査・報告できる調査技術者。現在、200人以上が合格し、構造物調査業務などに携わっている。

建築構造調査士運営委員会の山下賢治委員長は「今後発生が予想される自然災害への対応に向けて確かな技術と知識の蓄積が必要。社会インフラの健全な維持・保全に貢献するため、技術が共有できる他団体や事業主体と連携し、資格の拡大を図りたい」と話した。

講義では、鉄筋コンクリート・鉄骨構造の調査技術、天井などの非構造部材、基礎と地盤についてそれぞれ解説した。

